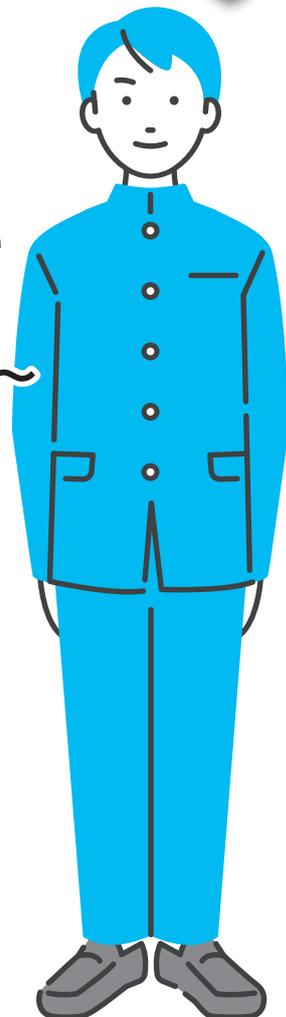


# 中学生のスポーツ・文化活動 持続可能な体制づくりを目指して

## 長門市の部活動地域移行の方針(案)

全国で「休日の部活動地域移行」を段階的に進める取組が今年度から本格的にスタートしています。本市では、少子化により、すでに各中学校単位での部活動存続が困難となってきたことから、この機会に、種目選択肢を確保し、持続的に活動できる体制を目指して部活動改革を推進します。

**問** 長門市教育委員会  
生涯学習・文化財課 ☎ 22-3526  
学校教育課 ☎ 22-3515



### 少子化による生徒数の減少・

### 設置種目数の減少

今年度の中学生の生徒数は711人で、現段階の推測では5年後には626人、10年後には469人まで減少する見込みです。部活動の設置数も昔と比べて大幅に減少しています。

各中学校の部活動を調査したところ、左記のような現状となりました。

### ▼部活動の設置数

中学校名	男子	女子	共通
仙崎中	野球※1、テニス、卓球、剣道	バレー、テニス、剣道	吹奏楽、カルチャー
深川中	野球※1、テニス、卓球、剣道、柔道、バスケ、陸上	バレー※2、テニス、卓球、剣道、柔道、陸上	吹奏楽、美術
三隅中	野球、卓球、剣道	バレー※2、テニス、剣道	吹奏楽
日置中	野球、卓球	バレー、テニス	吹奏楽
菱海中	野球、剣道	バレー、テニス	

※1、※2…合同チーム

### ▼現状

- ・深川中学校以外の学校では、**設置種目数が少なく、希望する種目を選択できない**
- ・**団体競技の部員数が足りず、他校との合同チームで活動するしかない種目がある**(現在、野球部は仙崎中と深川中の合同、バレーボール部は深川中と三隅中の合同)
- ・少ない部員数での活動となるので**練習内容の選択肢が少なく、効果的な活動ができない**
- ・種目経験のない教員が顧問を務めることも多く、技術的指導の困難さや部活動運営への精神的な負担感が生じている
- ・休日を含めた部活動の指導を求められるなど、教員にとって大きな業務負担となっている

アンケート調査結果でも、小・中学生や保護者から「部活動の選択肢を増やしてほしい」や「人数が少なくて困っている」などの意見が多く出ました。また、市民を対象としたアンケートでは「選択肢を増やし、中学生がやりたいことができるように地域での活動への移行に賛成」「教員の負担軽減は必要」などの意見がありました。

